

# 児湯畜連が電子体高計を導入!

～一層の改良増殖を図る～



▲セリ伝票にも記載

▼セリ時に電光掲示板表示

児湯畜連では、地域内における一層の改良増殖を図るため、本年3月に電子体高計を導入、子牛がセリに出場する際に測定を行い、結果データを購買者及び生産者に提供、好評を得ている。

測定結果は、繁殖牛並びに肥育牛の基礎データとして電光掲示板に表示するとともに、体高及び発育推定値を伝票に記載することで、活用を図っている。

畜連では、今後とも「質と増体」の向上に重点をおいた改良増殖を推し進めたいとしている。



## 平成16年度マル緊事業について

### ～肉用牛肥育経営安定対策事業～

本事業は、平成16年度から第2業務対象年間となり、1頭当たり積み立て額、最高補てん額の見直し、対象品種に外国種が追加されるなどの変更がありましたので、内容の紹介をいたします。

#### ① 事業の目的

肉用牛肥育経営の安定を図るため、生産者の抛出と国の助成により基金を造成し、収益性が悪化したときに家族労働費を補てんする。

#### ② 事業内容

肥育牛1頭当たりの推定所得が平均家族労働費を下回った場合に、その水準に応じて四半期ごとに肥育牛生産者に補てん金を交付する。

- 1) 抛割割合 生産者・県費：国＝1：3
- 2) 事業実施期間 平成16年度～平成18年度（3年間）
- 3) 発動基準 地域の直近3カ年の平均家族労働費
- 4) 補てん割合 基準家族労働費と四半期平均推定所得との差額の8割
- 5) 対象品種 肉専用種、交雑種、乳用種、一産取り、外国種

#### ③ 最高補てん金額並びに積立金の内訳(平成16年1月～平成18年12月)

単位:円

区分	基準家族労働費	最高補てん金	生産者積立金	県費助成金	国(中央畜産会)	1頭当たり積立額
肉専用種	72,968	58,300	9,100	1,200	30,900	41,200
交雑種	39,918	31,900	3,400	500	11,700	15,600
乳用種	42,445	25,900	5,200	700	17,700	23,600
一産取り	52,698	42,100	6,200	1,200	22,200	29,600
外国種	39,918	31,900	3,400	500	11,700	15,600
負担割合	—	—	1/4		3/4	—

注) 1 対象牛は、平成16年1月1日以降の積立金納入牛。

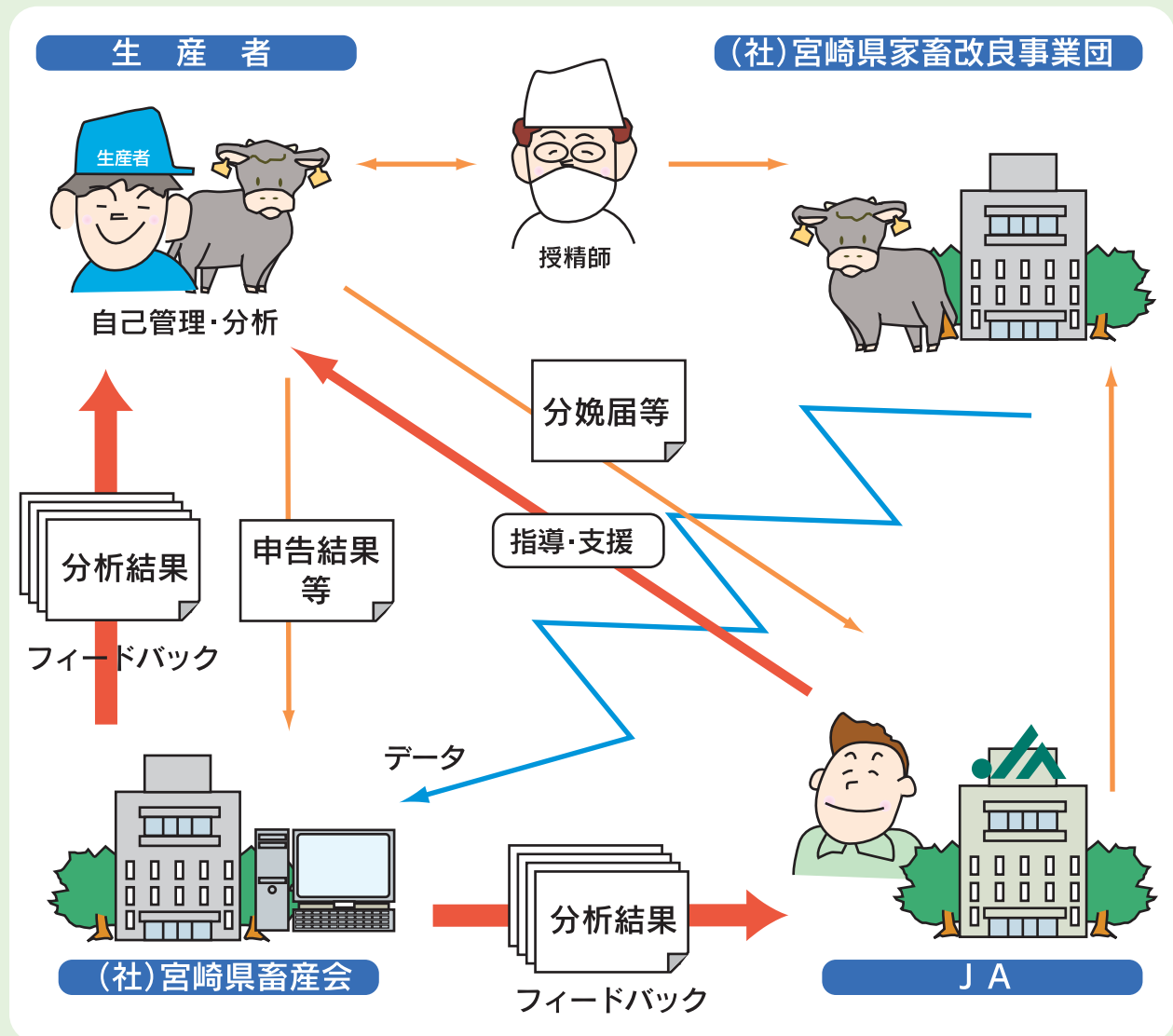
あなたの経営を総合的に支援する

# 肉用牛経営支援事業

宮崎県では、県肉用子牛価格安定基金協会を中心に、家畜毎の授精・分娩、子牛販売、死亡・廃用牛情報等極めて充実した肉用牛ネットワークがつくられ、県家畜改良事業団に集中管理されています。

このネットワークに集められた情報は、肉用牛の経営分析に必要な母牛データ、子牛データのすべてを満たすことができるもので、これに青色申告等の経済データを加えることで完全な経営分析ができます。

今回、関係者の理解を得て、これらのデータ利用が可能となり、畜産会の経営分析システムで分析することにより、希望する生産者すべてに、迅速な分析結果のフィードバックができるようになりました。



## 1. フィードバックできる分析内容

### A. 生産技術分析(県内すべての繁殖農家の分析が可能)

- ①市場平均値との比較(グラフ:子牛の1日当たり増体重、販売価格)
- ②月別出荷・繁殖状況(月別分析表)
- ③繁殖牛の飼養状況(繁殖図譜)
- ④繁殖技術分析グラフ(母牛年齢構成、分娩間隔、母牛リスト…、年間まとめ)

### B. 生産コスト分析(青色申告等の経済データの提供が必要)

- ⑤生産コスト分析表(生産費用と損益:成雌牛当たり、子牛出荷当たり)
  - ⑥実績の分析結果(所得、損益、繁殖技術、子牛出荷技術)
- ※サンプルは8ページ

## 2. 活用方法

### 1. 経営の点検(生産技術面の把握)

- (1)牛ごとの分娩間隔などの繁殖成績の把握
- (2)販売実績の把握
- (3)生産原価の把握
- (4)収益性の検討

### 2. 規模拡大、新規投資の検討(実績をベースとした経営予測)

- (1)安全性の検討
- (2)シミュレーション作成の基礎データ
- (3)資金繰り検討

## 3. 事業参加負担金

基本タイプ:生産技術分析は年2回、経済分析は年1回のフィードバック

成雌牛頭数 (分析頭数)	A. 生産技術分析 サンプル①②③④	B. 生産コスト分析 サンプル⑤⑥
9頭以下	2,000円	一律1,000円 (申告結果等のコピー の提供が必要)
10~29頭	3,000円	
30~49頭	4,000円	
50~99頭	6,000円	
100頭以上	9,000円	

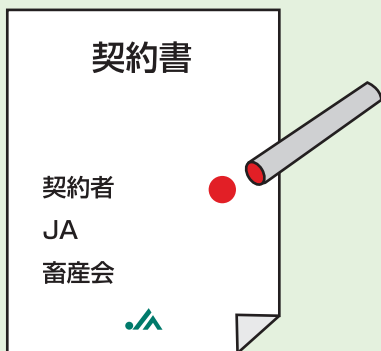
※B.生産コスト分析は年間まとめ(1回)

## 申し込み手順

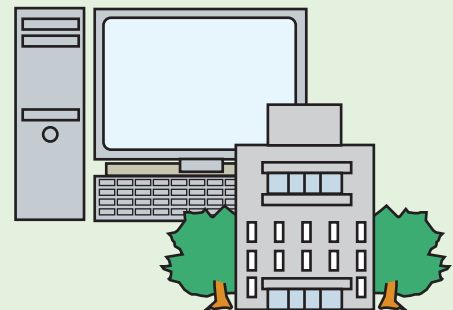
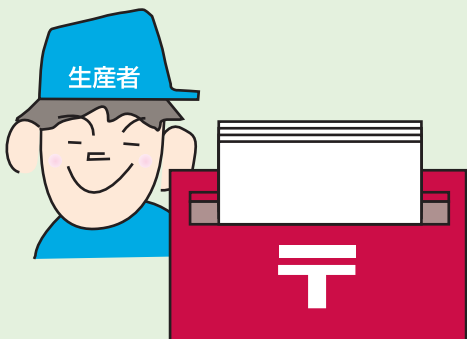
**1** JAの担当者へ  
連絡し契約書を受け取ります。



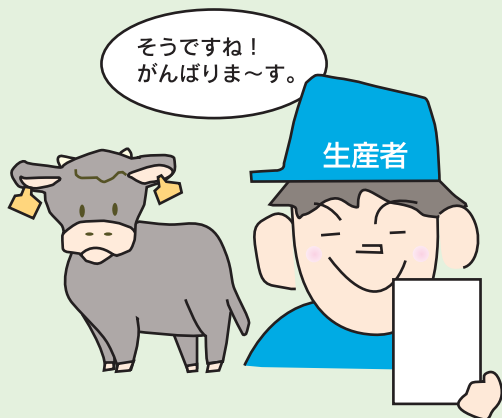
**2** 契約書（契約者、JA、畜産会の  
3者契約）に記入、捺印し、JAへ。



**3** JAより畜産会へ契約書が  
届き手続き完了。



**4** 畜産会から分析結果が  
年2回届けられます。



# 分析帳票一覧

## A. 生産技術分析

### ①市場平均値との比較(年2回)

**サンプルA①** 畜産経営診断結果

経営者名: 畜産太郎 様 住所: 宮崎市広島1丁目 [TEL] 宮崎県広島区 宮崎 宮崎牛広島1-13-10 TEL: 0985-24-2474 FAX: 0985-24-9648

診断期間: 平成16年1月~12月

1) 飼養頭数(分析対象) 単位: 頭

区分	飼養牛(分析対象)	計	平均	育成率
前期	283	318	293.3	0.93
後期	318	353	335.5	0.94
平均	300.5	335.5	318.0	0.935

2) 出荷分析グラフ(年平)

### ②月別出荷繁殖状況(年2回)

**サンプルA②** 月別出荷・繁殖状況

(2002年01月~2002年12月)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	前年からの累計平均
子牛出荷頭数	3	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	37
子牛出荷体重	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
母牛頭数	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100

### ③繁殖牛の飼養状況(年2回)

**サンプルA③** 繁殖牛の飼養状況

1) 飼養状況

2) 飼養実績

名	生年月日	種	飼養期間	産乳量	飼料費	子牛販売	産乳収入	飼料費	飼料費	飼料費	飼料費	飼料費	飼料費
あまこ	1999/01/25	白	2000/03/20	345,000	10,847	20,200	3,210	11,411	11,411	11,411	11,411	11,411	11,411

### ④繁殖技術分析グラフ(年1回)

**サンプルA④** (年1回)

1) 子牛の出産成績

項目	前年実績	実績	前年対比(実績平均)	前年対比(実績)
子牛の出産頭数	127	111	87%	87%
子牛の出産体重	3,900	3,850	99%	99%

2) 繁殖成績

項目	前年実績	実績	前年対比	前年対比
母牛の出産頭数	335	324	97%	97%
母牛の出産体重	12,210	12,110	99%	99%

3) 繁殖技術

## B. 生産コスト分析(年1回)

### ⑤生産コスト分析表

**サンプルA⑤** 生産費用と損益

(1) 当期生産費

項目	金額	成増率(前年対比)	子牛出荷(円/kg)	構成比
種別	294,270	12,682	11,490	3.3
人件費	1,574,715	60,850	61,093	18.4
飼料費	369,357	15,939	15,437	4.4
電気料	33,000	3,271	2,825	0.7
燃料費	2,800,000	86,297	106,203	23.4
雑費	2,653,000	89,520	109,100	24.1
計	7,943,292	282,589	282,589	7.3

(2) 損益計算

項目	金額	成増率(前年対比)	子牛出荷(円/kg)	構成比
子牛販売収入	6,305,000	300,340	489,263	14.5
母牛販売収入	204,810	18,372	12,841	0.4
計	6,509,810	318,712	502,104	14.9
販売収入合計	6,509,810	318,712	502,104	14.9
生産費用合計	7,943,292	282,589	282,589	7.3
粗利益	1,566,518	136,123	119,515	3.5
減価償却	1,100,000	10,000	8,000	0.2
計	456,518	126,123	111,515	3.3

### ⑥実績の分析結果

**サンプルA⑥** 実績の分析結果

【繁殖部門】

項目	前年実績	実績	前年対比	比較率	比較率の対比	メモ
母牛の出産頭数	335	324	97%	97%	97%	
母牛の出産体重	12,210	12,110	99%	99%	99%	
子牛の出産頭数	127	111	87%	87%	87%	
子牛の出産体重	3,900	3,850	99%	99%	99%	

※生産コスト分析については、成雌牛の減価償却一覧・損益分岐点分析等、別帳票あり。

# 肉用牛経営支援事業 申し込み書

JA畜産担当窓口 あて

平成 年 月 日

申し込み者：氏名 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

FAX 番号 \_\_\_\_\_

肉用牛支援事業への申し込みを行います。

参 考：現在の経営規模

繁殖牛 頭 \_\_\_\_\_

肥育牛 頭 \_\_\_\_\_

～畜産会へ直接送付いただいても結構です～

社団法人 宮崎県畜産会

〒880-0806 宮崎市広島1丁目13-10 畜産会館内

[TEL]0985-24-2674 [FAX]0985-26-9648